

今年も笑顔がいっぱい!

「せしみるじ、うがうがたんー!」

熊本地震が発生した4月、熊本県はもちろん、隣の大分県でも揺れが続き、連日流れるニュースを見ては、子どもたちは不安を募らせていました。

そんな子どもたちの不安を和らげたいと、今年は大分県杵築市山香で、8月18日(木)に工作教室を開催。講師は“ちゃんしの”こと板画家の有賀忍先生です。

当日は、夏休み中にもかかわらず約40名の子どもたちが参加。牛乳パックなどの廃材を利用したおもちゃ作り(おばけ六面相、バクバクカードなど)にチャレンジしました。

「バクバクカード」は、開いたお口の中にメッセージを忍ばせます。カードを封筒に入れ、封をしたら、おうちの人へのプレゼントが完成!

「お母さんだけでなく、お父さんにもあげたい」と材料を追加でもらう子どもたちもいたほど。みんな夢中で取り組みました。

作ったときのその気持ちを、自宅に持って帰って家族や参加できなかった友達と共有してほしい、そんな“ちゃんしの”の想いも届いたようです。

当日の詳しい様子やおもちゃの作り方はホームページで紹介中。ぜひご覧ください!



「おばけ六面相」作りに夢中

“ちゃんしの” オススメ POINT!!



① 廃材利用で手軽に自由に

捨てられてしまうようなモノでも、工夫をすれば楽しいおもちゃに大変身!

「どうやったら遊べるかな」と頭と体をフル稼働させれば、子どもたちの創造力は無限大に広がり、モノを大切に作る心も育ちます。

② 感謝の気持ちを伝えよう

忘れがちな、身近な人への「ありがとう」。言葉にすればきっと喜んでくれるはず。そして、喜ぶ顔を見るのはうれしいもの。

言葉で伝えると、みんなの心があたたかくなる、ステキなことだと心に刻んでほしいです。



バクバクカードに書かれたメッセージ

【届いたお手紙】

おかあさんへのてがみで、「おくちバクバク」をあげたら、よろこんでくれたのでうれしかったです。

まだまだ全国各地におじゃまします

「まつりのひ」が
文部科学省教育映像等審査で
選定を受けました!

文部科学省から「学校の授業で活用したり、子どもたちへの読み聞かせ作品としてふさわしい」とお墨付きをいただきました。

【対象】

- ・小学校低・中学年児童(学校教育/道徳)
- ・少年[社会教育/教育・情操(童話・寓話)]



紙芝居『まつりのひ』を活用した道徳授業

10月から、青森県、埼玉県、東京都、三重県、広島県の5ヶ所で授業を実施中。協力し合うことの大切さや自分たちの暮らす地域を愛する心を育みます。

声優による紙芝居上演

今年もケック・コーポレーションさんのご協力で、プロの声優さんによる紙芝居上演を行います。実施場所は福島県を予定。たくさん子どもたちに、夢と希望を届けます!